

参加者大募集

地域を元気にする事業を育てる学び舎

大槌町コミュニティビジネス 実践塾 2016

第1回 地方ならではの『事業』の立ち上げ方
自らお金を回し継続性を確保する仕組みこそがコミュニティビジネス



参加費無料
予約不要

2016年 9月22日 (木・祝) 13:30~16:30

会場：シーサイドタウンマスト2F マストホール

「大槌町コミュニティビジネス実践塾2016」は、4回シリーズで開催する予定です。

実践者の経験談を聞いたり、実験（実際にアクションを起してみる）を通じて、具体的なアイデアを磨いていきます。詳細は、後日発表予定！

問い合わせ先

おおつちコミュニティプレイス事務局
TEL 0193-55-6870 (9時~17時 月曜休館)

主催：大槌町 / 協力：NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター



大槌町を元気にする事業を 起業してみませんか？



【コミュニティビジネスとは？】

コミュニティビジネスは、地域資源を活かしながら地域課題の解決を『ビジネス』の手法で取り組むものであり、地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与するものと期待されています。

(経済産業省関東経済産業局ホームページより)

【実践塾の基本姿勢】

地域を元気にする事業は、「種」から丁寧に育てることが大切。まずは妄想でもOK! アイディアを持ち寄り、それを磨いていくことで構想・計画になり、アクションの積み重ねが実現に結びついていきます。

ポイントは、机上で事業計画を考えることから始めるのではなく、まずは小さなアクションを起こすこと。地域を元気にする事業を生み出す「はじめの一歩」を踏み出しましょう。

【講師紹介】

斎藤主税（さいとうちから）氏

NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長

新潟県の最北端に位置し、中山間地域を含む村上地域（1市2村）では、1999年から地域を元気にする事業（＝コミュニティビジネス）の育成を官民協働で取り組み、数多くの成果を生み出しました。その中心的な役割を担ったのが、都岐沙羅（つきさら）パートナーズセンターという中間支援NPOです。「地方には地方のやり方がある。」地方の現場での実践から培われたノウハウをベースに、大槌の元気づくりをお手伝いしていきます。

都岐沙羅パートナーズセンターのホームページ
<http://www.tsukisara.org>

